



成長と自立に向けて…

長い夏休みも終わり、2学期が始まりました。夏休みには、大会やコンクールなど様々な行事があり、いろんな経験をして成長できたのではないかと思います。

私の夏休みは、各種大会等の応援や様々な行事、研修会などで、休みらしい休みはほとんどありませんでしたが、大変充実した夏休み期間になりました。

そんな中でも3つ楽しみがありました。オリンピックと高校野球と読書です。

オリンピックは、4年に一度の世界最大のスポーツイベントで、アスリートとしてのピークを考えると、何度もでられる大会ではありません。そんな中でのぎりぎりの闘い・せめぎ合いやそこまでの一人一人の物語に共感し、感動をもらいました。

高校野球は、京都代表の京都国際高校の甲子園での快進撃もあり注目しました。派手さはありませんが、鍛え上げられた走攻守と全体を見通した試合運び、勝ち上がっても落ちない体力と集中力、相手チームを思いやる態度やマナー、勝ち進んでもおごらない謙虚さと安定したメンタリティー。全国優勝にふさわしいチームだったと思います。そんなチームに対する誹謗中傷があることが残念でなりません。過去の悲しい歴史をどうしたら乗り越えられるのか考えさせられます。

読書については、いろいろと読みましたが、ここでは本校の図書室にある本、宮島未奈の『成瀬は信じた道をいく』とミハエルエンデの『モモ』について書きます。『成瀬は信じた道をいく』は、本屋大賞を取った『成瀬は天下を取りに行く』の続編で、大変読みやすい面白い本でした。私はまだ『成瀬は天下を取りに行く』は読んでませんが、十分楽しめました。『モモ』は、本校の図書室の本は貸し出し中だったので、別の図書館で借りて読みました。何十年ぶりかで読みましたが、「本当に大事なものって何なのか」等、いろいろと考えさせられる内容でした。

みんなも少しはゆっくりできましたか。今月が終われば、早くも4月から半年が過ぎ、今年度の折り返しとなります。

文化祭のスローガンを『響・共・協～みんなで創る最高の青春（あおはる）～』、体育祭のスローガンを『青春～最高な友、最高な集団、最高な体育祭～』とし、2学期に入り、早速、取組が始まっています。みんなにとって、成長できる最高の取組にしていきたいと思います。

保護者の皆様には、平素より本校の教育に格別のご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。2学期も「楽しい学校」「安心できる学校」をベースに、可能な限り子どもたちに委ね、支援しつつ自立と成長を促していきたいと思っております。最終的には、義務教育の終了を見据えて、将来自分の足で幸せに生きていける力を付けて欲しいと願っています。キーワードは『考える力の向上』です。引き続きご支援を賜りますように、どうぞよろしくお願いいたします。

